



東長崎地域センター管内人口 38,529人（男18,330人、女20,199人） 世帯数16,124世帯（令和3年1月末現在）

東長崎地域センターから地域の情報をお届けします。

■川内町に史跡等の案内看板が設置されました！

令和3年1月24日（日）川内町自治会の皆様が、町外から訪れる方々のために、史跡等の場所が分かりやすいように間伐材を利用した手作りの丸太の案内看板を設置されました。

長崎市から間伐材の提供を受け、丸太の樹皮はぎから、腐食剤の塗り付け、文字の記載、農道使用許可の申請、設置まで地域の皆様が自ら動かされて素晴らしい案内看板を作成されました。

今回の設置で案内看板は6基となり、史跡等の場所がとても分かりやすくなりました。



●案内看板設置の様子（無盡軒）
約20名の方が集まりました。



●無盡軒（東長崎で最初の寺子屋。古賀地域からも子供たちが学びに集まっていたと言われています。）



●無盡軒の由来（元文元年（1736）に諫早の早田八郎左衛門輝常という方がご先祖の菩提を供養すると共に、村民の安穏を祈願するために建立されたもの。主尊は観世音菩薩）



●諫江八十八ヶ所第六十八番札所
になっており、参拝に来られる方もいらっしゃるそうです。



●無盡軒の梵鐘（戦時中に国から没収されましたが、戦後奇跡的に戻ってきたそうです。）



●案内看板設置の様子
(無盡軒歴代住職の墓)



●無盡軒歴代住職の墓（通常の墓とは形が変わっているようです。）



●川内神社（鳥居には河内神社と刻まれています。）



●この先 400m先に鳥居があり、八大龍王（水の神といわれています。）と刻んである大きな一枚岩があります。



●川内神社の600年杉

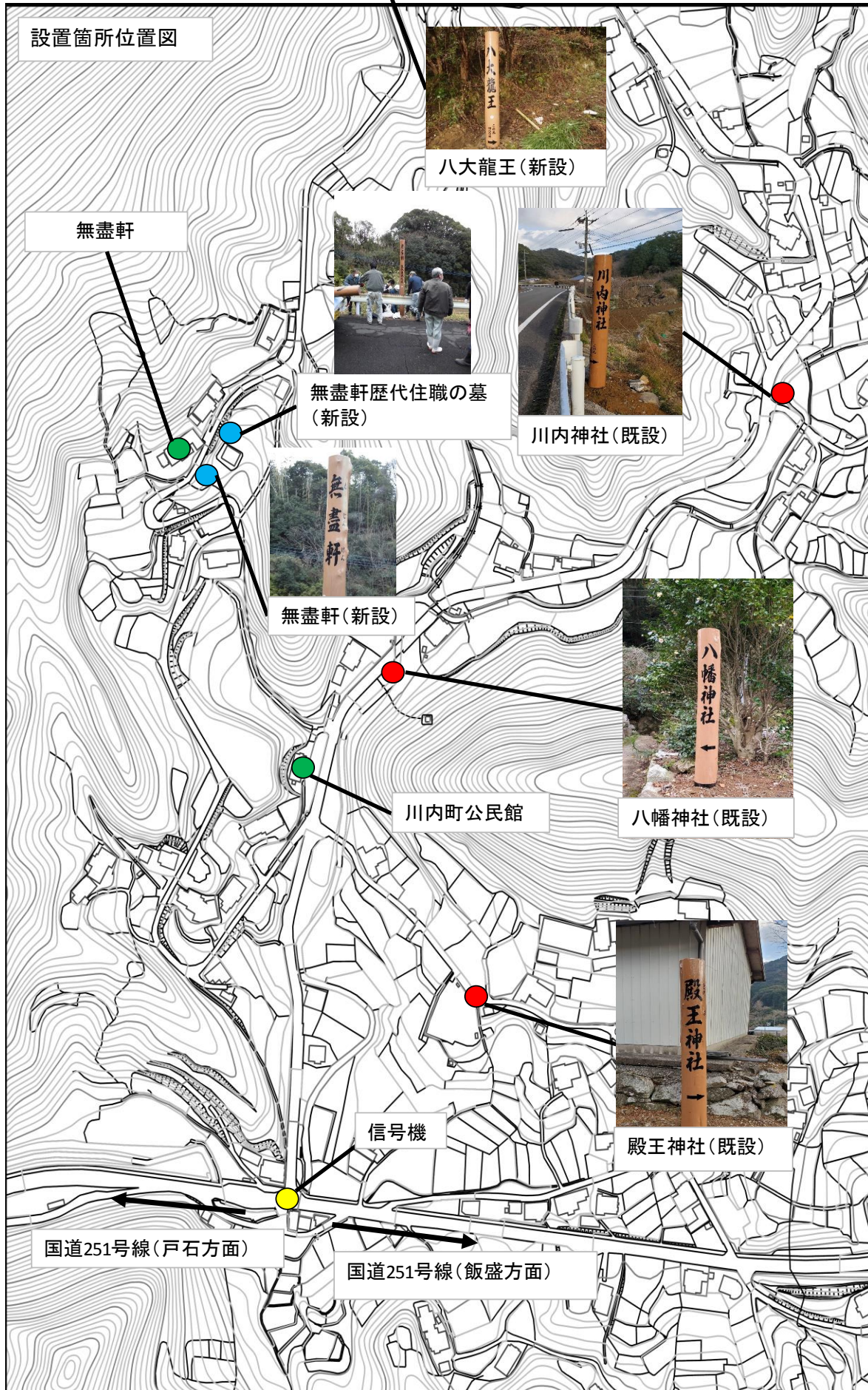
今回は、地域の皆様が地域の活性化のために自ら動かれたおかげで、そのままと忘れ去られてしまったかもしれない史跡等を次の世代に残していくことができるようになったと思います。今後、川内町を訪れる方が増えていくのではないのでしょうか。

川内町に限らず、コロナ禍で外出は難しいかもしれませんが、自分の住む地域を散策してみると、埋もれている史跡等思わぬ発見があるかもしれません。その発見が今後の地域の活性化につながっていけば良いですね。

川内町の案内看板の設置場所の地図を掲載しますので、興味のある方はぜひ散策してみてください！

地図から道なりに約550m進んだ先に設置
(八大龍王は看板からさらに400m先にあります)

設置箇所位置図



【発行】長崎市東長崎地域センター 〒851-0133 長崎市矢上町 19 番 1 号 (東部地区にここセンター1 階)

☎839-5151 FAX834-0001 営業時間：平日 8：45～17：30 ホームページ：[長崎市東長崎地域センター](#) 検索